

たんぽぽ うしん

第11号

[編集人] 社会福祉法人 札幌協働福祉会/アクティビティ・サポートセンター協力会 牧野 秋夫
〒002-8055 札幌市北区篠路町福移147-3 TEL:011-792-3969/FAX:011-792-2887
HP <http://sapporo-kyoudoufukusikai.jp> E-mail:info-honbu@sapporo-kyoudoufukusikai.jp
[発行人] 北海道障害者団体定期刊行物協会 [発行] 2012年3月10日発行(毎月10日発行) [定価] 20円



4月に「あいの里協働保育園」開設、 11月には「ふれあいセンター」新設予定!

札幌協働福祉会総合施設長 辰田 収

いよいよ新年度の始まりです。さっそく4月1日から、あいの里協働保育園(乳幼児併設:定数60名)の開設、あいの里2・2(ケアホーム:定数5名)の開設とあいのさとアクティビティセンターの新体系移行(通所授産から生活介護事業へ定数40名)があります。

更に11月には、ユーザーさんの活動拠点で食堂併設のふれあいセンターあいの里(仮称:就労継続支援事業等定数20名)の新設を予定しています。このふれあいセンターはデンマーク・オーフス市のカフェ・ローザに学び2001年に始めた居酒屋キートス(2年でつぶれましたが)をより大きな構想で再現するもので、ユーザーの活動が大きく広がることが期待されます。ユーザーの皆さん、保護者の方々、地域の皆さん、乞う、ご期待!

札幌協働福祉会は、北欧のノーマライゼーション理念に学び、ジェントルティーチングを実践理念とし、歩んで来ました。2012年度は初心に帰り、理念の下に、障がい児者支援を進めて行きます。

<ノーマライゼーション — 自然に自分らしく暮らす... —>

北欧、とりわけデンマークの障害者支援をモデルとして札幌協働福祉会の実践は始まりました。そして1995年創設時に協力会牧野会長・宮野英隆等数名で法人理念のノーマライゼーションを、分かりやすく表現した詩を作りました。

北欧から始まったノーマライゼーション理念は「ともに生きるのが当たり前の社会」を目指しており、札幌協働福祉会は、「ユーザーの自己決定・自己選択の尊重」「スタッフとユーザーの対等な関係の確立」「仕事中心ではなく、多様な活動の展開」「北欧を中心とした国際交流の推進」「地域との連携」を目標に活動を続けて来ました。

(次ページに続く)

描き続けています。	私たちが今日もその夢を	ともにもてる社会にしたい。	障がいのある人もない人も	そんな人間らしい生き方を	お互いを高めあう。	他者の価値を尊重し、	心豊かな人間関係を築く。	さまざまに人々と広く関わり、	自然に自分らしく暮らす	理念
-----------	-------------	---------------	--------------	--------------	-----------	------------	--------------	----------------	-------------	----

行事予定

- 《拓北・あいの里地域の行事予定》 ■ 4月22日(日) 北海道教育大学札幌校連合吹奏楽団 スプリングコンサート
開場:14時 開演:14時30分 場所:拓北・あいの里地区センター
- 《札幌協働福祉会の行事予定》 ■ 5月3日(木)~6日(日) 利尻パークゴルフ・釣り旅行

<ジェントル・ティーチングは人間信頼に基づく平和的アプローチ>

札幌協働福祉会は、米国のジョン・マクギーにより生み出されたこの実践に学び5年たちました。この実践の前提として、3つの視点があります。

- ①「利用者の見方にたつこと」
- ②「利用者の思いや言葉に耳を傾け、利用者の感じている、経験していることを理解すること」
- ③「利用者の自己選択、自己決定の機会を増やすことを支援していくこと」です。

続いて4つの柱があります。

- ①「安全・安心であること」—を相手に教えること。
- ②「誰も傷つかないこと」—自分とかかわりあう人がいる、かかわりあうことは、とても楽しいよいことだ。
- ③「愛されていること」—愛されていることに気づいてもらうこと。
- ④「愛すること」—私たち援助者に愛情を示せること。

援助者は、交わりの気持ち、交わりの感情を育てるために、4つの道具を使います。

- ①「心」—私たちがもっている心を与える、思いやりを伝えること。
- ②「手」—愛情をもって接する、触れるということ。…恐怖の感情を抱いている人々に対して、私たちが手で触れるのは安全で、愛情あふれていると分かってもらうこと。
- ③「言葉」—もし利用者が私たちを叩きかけたとしても、やはり私たちは「あなたはいい人だ」と暖かく話しかけを続けること。
- ④「目」—目は口ほどにものを言うということわざがある。目を使って援助する相手に対し、尊重の気持ち・思いやり・優しさを伝えていくこと。

以上、やさしさにあふれるジェントル・ティーチングについて簡単に説明してきました。ジョン・マクギーは援助のあり方・援助者のあり方、ひいては人間存在そのものへ深い洞察を行っております。札幌協働福祉会は、ジェントル・ティーチングを法人の実践理念として位置づけ、事例検討や講習会を重ねております。

障がいのある人もない人も、地域でともに生きる社会をめざし、拓北・あいの里等を優れたノーマライゼーション地域にするために、2012年を、更に着実に歩み続けます。

3/11(日)

東日本大震災追悼式



札幌協働福祉会
宮野英隆常務理事



ホップ障害者地域
生活支援センター
猿倉正治氏



ホップ障害者地域
生活支援センター
相澤和彦氏



NPO法人ホップ
理事長 澗口幸子氏



2012年3月11日(日)、東日本大震災の発生から1年を迎えたこの日、北区の「拓北・あいの里地区センター」で「東日本大震災追悼式」がホップ障害者地域支援センターの主催で開かれました。

追悼式冒頭、主催者挨拶で竹田保代表理事が震災発生直後の2011年3月15日から続けている石巻市での移動支援ボランティア・レラの活動について「多くの方々の協力で活動を続けられた」とお礼が述べられ、さらに今後についても「どのような活動を行うべきかあらためて考えていきたい」と継続に向けて抱負が語られました。

そして追悼式ではNHK札幌が移動支援ボランティア・レラの活動取材した番組が放映されました。その後支援派遣された各団体の皆様から5名の方が代表して派遣時の現地の様子を振り返り話しました。

震災発生時刻の午後2時46分に会場では参加者全員で多くの犠牲になられた方々へ哀悼の気持ちを込め黙とうがささげられました。

後半に札幌協働福祉会の宮野常務理事がレラの活動を支援するための後援会の設立を訴えると会場の皆さんから賛同の拍手が上がりました。

(NPO法人ホップ竹田代表のご挨拶は6ページに掲載)

東日本大震災の支援活動

～あれから1年～

札幌協働保育園 園長 池田 亮

平成24年3月11日、拓北・あいの里地区センターにて、石巻移動支援ボランティア「レラ」の報告活動と今後の支援についての集会が行われました。1年というものは、こんなにも早く過ぎてしまうものかと改めて認識をし、これから何をすべきかを確認した。

私は、震災から1ヶ月後の4月末と9ヶ月が過ぎた12月末の2回にわたって参加させていただきました。4月の石巻は、そこら中に瓦礫が積み、何とか車が通れる中で、各避難所やご自宅からの病院移送、自衛隊仮設入浴場を利用した入浴介助・泥だし等々、混乱の中でできることは何でもしながら過ごしました。

そして12月…石巻駅前に降り立った光景は、JRこそ試験運転で区間限定のみだったものの、タクシーは客待ちの長い列を作り、バスが走り、商店街は比較的にぎやか…街中の瓦礫は綺麗に収集場へ撤去が終わり、その空間は一瞬震災を忘れさせるものでした。

現在の活動は、定期的な透析患者の方を中心にしながら、他の通院や買い物等への支援となっており、一日90件を超える移送は人手不足もあり、お昼ご飯を食べることを忘れてしまうほどでした。あれから1年が経ち、見た目には徐々に復興の兆しがあるのにも関わらず、移送回数が増え続けている現状はなんなのか。

仮設住宅の整備が終了し、避難所が無くなり、これまで地域ごとに避難されていた人たちは、抽選でバラバラの土地へ移された。そして、市街地や近郊に沢山の仮設住宅がある中、抽選に漏れ続

け仕方なしに郊外の仮設に入っている高齢の方が意外と多くなった。若い人は、ネットや携帯などでいち早く情報をキャッチし、場所の良い抽選を敏速にこなすことが出来た。更に、抽選が終わった後でも、アパートをうまく借りられたり市外へ引っ越された方が多数いて2次募集・3次募集に対応した。

結果、高齢や通院が必要で移動の足がない方々の、郊外転居比率が高まり移送が増えることになりました。私が移送させていただいた方の中でも、勾配がとても急な山の上にある仮設が数ヶ所あり、雪が降ると車の乗り入れは無理そうで、何よりそのおばあちゃんは建物前の坂を降りることが出来ない！勿論、タクシーを使えば片道5千円はかかるだろう。その仮設の周りは、ジュースの自販機があるだけ…現在、高速料金が無料なので利用させていただいているが、高速を使って片道30分の仮設もある。

この仮設住宅は、2年間の使用契約と聞く。阪神・淡路大震災の時は、津波が無かった分土地は使えたにも関わらず、解体まで2年6ヶ月を要した。その時の教訓が活かされず、年齢や生活形態・定期通院の有無・地域性等々が考慮されていないことは残念である。

最近の石巻は、精神科の病院が人であふれている。このボランティアは、復興と共に被災地で形態を整備し終結できることが理想だが、なお、その見通しは立っておらず、今後とも継続していく必要があるのではと感じました。



津波で打ち上げられた漁船や車、倒れた家

移動支援ボランティア Rera(レラ)前にて

2012年
1月～3月

イベント報告コーナー

1/28(土) 2012 ニューイヤーパーティー



「よきこいチーム」(左)「パラパラCHチーム」(右)は今回のステージが初舞台

2012年1月28日(土)、札幌協働福祉会が主催する本年最初のイベントが北区の「拓北・あいの里地区センター」を会場に開かれました。当日は風雪が舞う生憎の天候でしたが会場には400人を超える来場者があり、芸能発表や楽しい抽選会に皆さんからは温かい拍手と歓声上がりパーティーは大盛況でした。



協力会 牧野会長の挨拶

拓北・あいの里連合町内会 松井会長の来賓代表挨拶



恒例の札幌五郎連による阿波踊り



おいしいよ！
皆さんでついたお餅はお汁粉へ



成人のお祝いの様子



ユーザー代表挨拶



3/10(土) 札幌協働保育園で卒園式

2012年3月10日(土)、この日の天気は快晴。札幌市厚別区にある札幌協働保育園ではひまわり組26名の「卒園式」が行われました。池田亮園長が一人一人の名前を読み上げると園児らは「はいっ！」と元気に席を立ち父母ら家族の見守る中「卒園証書」を受け取りました。



卒園児らが「1年生になったら」を合唱



ひまわり組担任の方々とはともに声を詰まらせながら挨拶



卒園証書を受け取り園長先生と握手

卒園児より担任へ花束の贈呈

2/22(水)～25(土) 2012 沖縄旅行



2012年2月22日(水)、アクティビティセンター・サポートセンター協会主催の「2012沖縄旅行」は、ユーザー、スタッフら総勢35名が参加、22日早朝に札幌市を出発。22日(水)から25日(土)までの3泊4日の日程で沖縄本島の各地を巡りました。氷点下の日が続く北国札幌から約2,240km離れた南国の沖縄本島へ、日中気温は20度を超え、皆さんは一足早く初夏を体感しました。



首里城で記念撮影 総勢35名



沖縄楽器の三線の音色で踊りだす皆さん



那覇空港到着！



国際通りにて



今帰仁(なきじん)ウェルネスパークゴルフ場で楽しくプレイ



日ハムの練習試合を観戦中！



本部町のレストランでカレーの昼食



オリオンビール園でカンパニー！



ナゴバイナツプルパークで記念撮影



美ら海水族館

<イベント報告:田村 隆>



東日本大震災1周年追悼集会より

NPO法人ホップ障害者地域支援センター 代表 竹田 保氏

災害支援で先進的な役割を果たしてきたホップ竹田代表より、ホップの設立原点となった作家水上勉氏の「拝啓池田総理大臣殿」—中央公論・昭和38年6月号—の紹介があった。少し長くなるが、重要な提起であり、我々の支援の原点確認の参考ともなるので、ご挨拶を紹介する。

◇災害支援とホップの原点が共通

—本当に支援されたのは私自身

昨年3月11日14時46分、宮城県牡鹿半島沖の海底でマグニチュード9.0の地震によって、大津波が発生し、多くの方が被災されてから1年になります。この東日本大震災で亡くなられた方1万5,854名、行方不明者3,155名。東北3県で推計2,253万トンのがれきが発生し6%しか処理されず、34万3,935名の方が全都道府県で避難生活を送り、11万6,787名が仮設住宅で生活をされています。本日は1年という節目にあたって、被災された方へのお見舞いととも、災害に私達がどのように向かいあうべきか改めて問いなおしたいと思い開催となりました。

今回の支援活動は3月11日の発災後、13日に日本財団様から支援活動への参加を打診を受けて、15日に急遽、物資搬送を行ったことから始まりました。私たちが中心的に活動をしている石巻市は、人口162,822人ですが、死者3,280名、行方不明者553名と大きな被害を受けた所です。非常に大きな災害を目にし、がむしゃらに支援活動を日々おこなってきたような気がします。この1年間で、約2万名の方の送迎を行ってきましたが、毎日100名近くの方を送迎してきても到底及ばないという、途方もなく大きな災害でした。

1年間という、長期間に渡って支援活動を継続して行ってこれたのは、多くの関係機関や本日ここにお集まりいただいた皆様や全国各地から駆けつけて頂いた皆様の絆だったと思います。本集会共催の札幌協働福祉会等多くの北海道内の団体や個人、全国の団体、個人の皆様に改めて感謝を申し上げます。支援活動を行ってきましたが、本当に支援をされたのは私自身だったような気がしています。皆様のご支援に心より感謝を申し上げます。

◇「拝啓 池田総理大臣殿」 水上 勉(作家)

昭和38年6月(中央公論掲載)

私を含めて多くの方が、支援活動を行っているのには共通の思いがあると思っています。

この、思いを代弁されているのではないかという文章を紹介させて頂きたいと思います。

私にとって、ホップという団体にとっての支柱ともいえる文章で作家の水上勉さんが昭和38年に当時の池田総理大臣にあてた手紙です。水上さんのお子さんも重度心身の障害を持ってらして当時の福祉の貧困さへの抗議から発した文章です。

東京の南多摩郡多摩村落合中沢というところに、島田療育園という重症心身障害児の収容施設があります。ここには約50人の盲、オシ、ツンボ、精薄、脳性マヒ、テンカン、奇形などの障害を、一身でいくつも背負っているかわいそうでみじめな子供が収容されています。こうした子供さんたちは、ダブル・ハンディキャップといわれて、人一倍手がかかるために、一般の児童福祉施設や精薄児や盲、ロウアの施設などからしめだしをくったのです。ところが、ひとりの篤志家の決意によって設けられたこの施設に収容されることになったのです。「世の中には、重症心身障害の子を家にかくしてひそかに育てている人たちが、何万人いるだろう。むかしのように座敷牢に入れたり、まるで飼育殺しにするような状態から、何とかしてその子たちを救いたい」念願からこの療育園は出発したのだと園長は言っています。(略)

ところがこの島田療育園に、現在まで政府が、どのような援助をなされたか、私が調べたところだいたい、次のようになります。昭和35年度4百万円。37年度6百万円。それだけであります。現在この療育園で、一児につき実費36万円かかるそうです。現在では合計2千7百万円の実費のかかる収容児をもっていますが、政府補助は、わずかに全費用の2割にしかありません。療育園ではこの不足分をどうしておられるかということ、募金などに頼っているとの返答です。(略)

総理大臣。私は、あなたに私の泣きごとをかいてみたかったではありません。私は重症身体障害者を収容する島田療育園に、政府が、たったの2割し

か補助を行っていないことに激怒したからです。政府が、今日までに、あのオシヤ、ツンボや、盲やかわいそうな子供たちが、施設からしめ出しをくって、収容されている療育園に、これまで助成した金は、2年間にわたってたったの1千万円でした。36年度に4百万円、翌年に6百万円でした。しかも、これは研究費というめいもくです。私が本年1年におさめる税金の1千百万円よりも少ないのです。私は、私の働いた金が、この島田療育園の子らにそそがれるのであったら、どんなに嬉しいかしれません。私ひとりの子でなく、私の子とおなじように歩けない子らの上に、そそがれる金であったら、私はどんなに嬉しいかわかりません。(略)

島田療育園の建物は、山を切り崩した中腹の平坦地に、まだ地ならしも完了していない赤土が出ている所です。粗末なていさいでたってみえます。そこへ行く途中の道路は悪く、建物も貧弱で、寒々としてみえるのです。対岸にあるゴルフ場のキャディ宿舎の方がはるかに立派です。白いペンキのちった療育園の小さな窓は格子がはってあります。その窓の中に、手足の動かない子供が50人もいるかと思うと、私はふっと、みどりの芝生を歩いている五体健康の私の身のありがたさに身をひきしめます。そして、やがては、そうした施設に入れて、教育させてやらねばならない私の娘のことに思いをめぐらせます。

私自身は、いまなお、現状は変わっていないという風に感じています。

◇誰もが「普通の生活ができる」

—災害支援と障がい児者支援は共通の想い

災害においても、私達ができることをただただ活動できる団体でありたいと思っています。被災された方が普通の生活に戻れる日はまだ先のことだと思えます。だれもが「普通の生活ができる」ということは共通の思いだと思います。1年の節目に、活動を振り返るだけではなく「普通の生活へ向けての支援活動」の必要性を改めて共有したいと思っています。

この1年間、一緒に支援活動を行って頂いたみなさんに感謝を申し上げてご挨拶とさせていただきます。

NPO法人ホップ障害者地域生活支援センター

〒065-0020 札幌市東区北20条東1丁目5-1
大西ビル1階

口座名義:福祉活動を支援する会

郵便振替口座番号:02720-0-44252

東日本大震災 移動支援ボランティア Rera
mobile:080-2872-1936

blog:<http://blog.canpan.info/rera/>

↑支援活動を掲載しています。

ホームヘルパー2級課程養成講座のご案内

主催者代表 株式会社きょうどう 宮野 英隆

高齢者や障がい者(児)にとってやさしい街づくりを目指した札幌市・拓北あいの里地区の介護や福祉現場でご活躍されることを願って、今年も昨年同様に、拓北あいの里ケア施設町内会、社会福祉法人 札幌協働福祉会の協賛等を頂き、ホームヘルパー2級課程養成講座を開催することとなりましたので、地域の皆様方にご案内させていただきます。

【開催期間及び講座内容】

- ① スクーリング(通学学習)は、平成24年6月16日(土)～7月8日(日)の毎週土日、のべ8日間
- ② 実習は北区内介護老人福祉施設等でスクーリング修了後～8月上旬で平日の4～5日間
- ③ 通信課題(自宅学習)は、スクーリング期間内に解答し、添削指導を受けます。

【スクーリング開催場所】

札幌協働福祉会 あいのさとサポートセンター内(予定)

住所:札幌市北区篠路町福移136-36(北札苗線[東69]中福移入口下車、徒歩3分)

【受講料】 50,000円(テキスト代、消費税、実習費込み)

【募集定員】 30名

【問合せ先】 株式会社きょうどう 地域貢献部 TEL 011-792-2600

【その他】 申込方法など詳しくは、別途、町内会回覧や新聞の折込み等を利用してお知らせします。



市内配達
無料です!

自然志向の店 **あくていぶ**

— 4月のお買い得品 —

創建社

- ◇洋風だし (8g×10袋) 389円→314円
- 中華風だし (8g×10袋) 389円→314円
- 和風だし (8g×10袋)



和風だし 399円 → **322円**

サンコー

アーモンド 294円 → **255円**
キャラメル

- ◇ミルクキャラメル (180g) 315円→273円
- コーヒーキャラメル (140g) 315円→273円
- アーモンドキャラメル (165g)



美々川福祉会

- ◇美々川石鹸 (2kg) 472円 → **411円**

シャボン玉

- ◇酸素系漂白剤 (750g) 420円 → **364円**



—「自然志向の店 あくていぶ」について—
障がい福祉サービス事業所「学園通り あくていぶ」で
就労支援を行っているお店です。

自然志向の店
あくていぶ

■営業時間 平日・土曜 10:00~17:00
日曜・祝日 定休日

<http://sapporo-kyoudoufukusikai.jp/main/>

札幌市北区あいの里3条4丁目9-1 (歩道橋すぐ横)
TEL 011-778-2377 FAX 011-778-2375



札幌協働福祉会ブログ紹介<抜粋版>



イベント情報・各事業所紹介等の情報が満載のホームページです。
日々更新いたしておりますので、ぜひご覧になってください!

◎ホームページ

<http://sapporo-kyoudoufukusikai.jp>

◎お問合せメールアドレス

info@sapporo-kyoudoufukusikai.jp

2/3(金)

【サポート/ブログより】

節分です!

本日は節分ということで、サポートセンターでは豆まきを行いました。



交流スペースに現れた3人の鬼に向かい、「鬼はそと」「福はうち」と皆さん声を上げて一生懸命に豆を投げていました。豆まきが終わり厄除けも終わり、皆さんでお豆を美味しくいただきました。



2/8(水)

【アクティビティ/ブログより】

どこでやっても雪まつり?

今日は雪まつり(つどいむ会場)に行く予定でしたが、暴風警報も出ていた為急遽中止となりました。楽しみにしていた方も多かったと思いますが、天気には勝てません!みなさんホントごめんなさい(_ _)> その代わりにってはなんですが協働福祉会特設会場にて、チューブスライダーを行いました!

2/7(火) 【アート/ブログより】

雪まつり

あいにくの雪でしたが、チューブ滑りやスノーラフトに挑戦し、スピードに乗って爽快感を体感したり、雪像を見て記念撮影をしてきました♪



HSK たんぽぽういん 第11号

昭和48年1月13日 第3種郵便物認可 HSK通巻480号
[発行] 2012年3月10日発行(毎月10日発行) [定価] 20円

[編集人] 社会福祉法人 札幌協働福祉会

アクティビティ・サポートセンター協力会 牧野秋夫

〒002-8055 札幌市北区篠路町福移147-3

TEL:011-792-3969/FAX:011-792-2887

[発行人] 北海道障害者団体定期刊行物協会 細川久美子

〒063-0868 札幌市西区八軒8条東5丁目4-18

TEL:011-736-1724

◎住所変更や送付不要の方は、電話またはFAXにて下記までお知らせ下さい。

社会福祉法人 札幌協働福祉会
アクティビティ・サポートセンター協力会
TEL011-792-3969
FAX011-792-2887 (福田、松岡)